

平成 30 年度

# 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

## 平成30年度 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業について

平成30年度の大衆と馬とのふれあいタイム推進事業（以下、「馬とのふれあい事業」といいます。）を下記内容にて実施します。

### 1. 目的

子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方々に、

- ① 馬を身近に感じられる機会の提供
- ② 青少年の健全な育成への協力
- ③ 乗馬の持つ魅力のアピール
- ④ 市民の余暇活動や生涯活動のサポート  
等を目的とします。

### 2. 事業内容

乗馬クラブが公的機関や地域団体と協力して、一般市民や青少年が馬とふれあう機会を創り、馬という動物や乗馬スポーツについて、理解を深められる事業であること。

具体的には、次のような例があります。

- ① 地域団体や公共機関が実施する地域イベントに、乗馬クラブが馬とのふれあいを提供する事業。
- ② 地域の幼稚園・保育園や小・中学校等が主催（共催）し、乗馬クラブが馬とのふれあいを提供する事業。（但し、スポーツ少年団活動は対象外とする。）
- ③ 教育委員会等の後援を受け、生徒・学生・高齢者等を対象として、長期休暇期間中等に乗馬に関する様々なプログラムを体験させる事業。  
（但し、運動部としてのクラブ活動は対象外とする。）
- ④ 行政機関等の後援を受けて障害者施設等で家族を含めた一般の多くの方々（もしくは組織）と共に、乗馬クラブが馬とのふれあいを提供する事業。

（注）事業を連携する学校については公立の施設か学校法人格を有している事を条件とします。

以上

## 注意事項

(1) 実施時期について

平成30年4月から12月末とします。

(2) 補助金について

1クラブ1件の事業を補助金の対象とします。

例年どおり事業助成金支出（一部補助）とさせていただきます。

(3) 馬匹について

催しにはご自身所有の馬・ポニーを使用して下さい。

(4) 公共機関との連携について

「市町村や教育委員会等公的機関や地域団体、教育機関が主催・共催・後援する事業」が条件となります。

※企業や、学校法人以外の教育機関との連携は対象になりません。

(5) 地域の補助金について

本事業の継続性を保つようにしていただくために、上記公的機関と連携を取りながら、地域等からの補助金等を得るよう努めて下さい。

(6) スタッフ等の確認

乗馬施設から派遣できるスタッフ、関係機関からの支援スタッフの人数を把握しておいて下さい。乗馬施設からは、本協会の乗馬指導者、日本馬術連盟、日本体育協会のいずれか資格を有する者が必ず一人は参加して下さい。また、馬の扱いに慣れたアルバイトが参加するでしょうが、必要ならばボランティアを手配しなければならない場合もあります。人の整理や駐車場係などが必要な場合もあります。

(7) 安全性の確保について

馬とのふれあいや引き馬等を実施する場合は、参加者等の安全に配慮し、本協会の乗馬指導者、日本馬術連盟、日本体育協会等のいずれかの資格を有する者が必ず一人は参加して下さい。

- ・馬と接する際の注意事項の周知・方法を掲げて下さい。
- ・騎乗させる場合、ヘルメット（3点式）の準備（可能ならボディプロテクターも準備）をして下さい。
- ・馬の選択。
- ・騎乗させる場合は、穏やかな馬を選び、体調等が悪く、また事業実施日当日に馬の様子を観察し、体調等が悪く騎乗に適さない場合には、他の馬に変更

して下さい。

- ・各種保険を活用下さい

(8) 領収書等の保管について

馬とのふれあい事業に参加し、経費に係る領収書等が発生した場合は、乗馬クラブにて保管して下さい。

## 馬とのふれあい事業の流れ

時 期	内 容
事業開始の1ヵ月前までとし、本年度の計画書提出期限を7月末日とする	事業実施主体（乗馬クラブ）が事業を企画・立案
	主催・共催・後援する公的機関との打ち合わせ
	事業計画書の提出
事業実施	「馬とのふれあい事業」実施
	事業終了後1ヵ月以内に必ず事業報告書を提出
12月末以降	本協会内で、実施案件のとりまとめ
翌年3月中旬	補助金を実施乗馬クラブへ交付

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会  
会 長 細 野 利 昭 殿

乗馬クラブ名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

担当者氏名 \_\_\_\_\_

電話・FAX 番号 \_\_\_\_\_

平成 30 年度 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業計画書

1. 事業名 \_\_\_\_\_

- ①引き馬 ②ふれあい ③馬に関する教育 ④体験乗馬 ⑤学校行事  
⑥ その他（具体的に \_\_\_\_\_）  
（該当項目を選んで○印を付けて下さい）

2. 内 容 ※詳細を記入して下さい。

3. 主催者名 \_\_\_\_\_

4. 共催者名・後援者名 \_\_\_\_\_

5. 予定期日 平成 年 月 日（ ） \_\_\_\_\_

6. 予定場所 \_\_\_\_\_

7. 乗馬指導者及び補助員人数 乗馬指導者 人 ・ 補助員 人 \_\_\_\_\_

8. 参加予定馬匹 馬 頭 ・ ポニー 頭 \_\_\_\_\_

（中止の場合は、FAX：03-6432-0860 にてご連絡下さい）

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会  
会長 細野利昭 殿

乗馬クラブ名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_ 印

電話・FAX 番号 \_\_\_\_\_

平成 30 年度 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業報告書

1. 事業名称： \_\_\_\_\_

2. 実施期日： \_\_\_\_\_ 平成 年 月 日 ( ) \_\_\_\_\_

3. 主催者名： \_\_\_\_\_

4. 共催者名・後援者名： \_\_\_\_\_

5. 実施場所： \_\_\_\_\_

6. 事業の内容

(1) 内容 (該当項目を選んで○印を付けて下さい)

- ①引き馬、②ふれあい、③馬に関する教育、④体験乗馬、⑤学校行事、  
⑥ その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )

ふれあい事業報告書（様式2-1）

（2）参加者

子 供	大 人	合 計
名	名	名

（上に記入した場合は、記入する必要はありません）

保育園児・幼稚園児	小学生	中学生
名	名	名
高校生・大学生	大 人	合 計
名	名	名

（3）使用馬匹

馬	ポニー	合 計
頭	頭	頭

（4）乗馬指導者及び補助員

スタッフ	主任有資格者氏名	アルバイト	合 計
名		名	名
（うち乗馬指導者）			
名			

（5）「馬とのふれあい事業」の効果等（喜ばれた事、失敗した事、改善した事、今後の方向等を具体的に記入して下さい。）

---



---



---



---



---



---



---

ふれあい事業報告書（様式2-2）

7. 経費

(1) 収入

収 入	
公的機関などからの補助金等	円
騎乗料	円
その他（保険料、馬具レンタル等）	円
合 計	円

(注) 補助金等の収入先を明記して下さい。( )

(2) 支出

支 出	
馬匹経費	馬 @ 円 × 頭 = 円
	ポニー @ 円 × 頭 = 円
人件費	スタッフ @ 円 × 人 = 円
	アルバイト @ 円 × 人 = 円
馬輸送費	@ 円 × 台 = 円
付き添い車両費	@ 円 × 台 = 円
消耗品費※品目：	
	合計 円
昼食費	@ 円 × 個 = 円
その他	円
合 計	円

8. 報告写真

事業の実施状況がわかる写真を3枚程度添付して下さい。

(会場の雰囲気、馬匹、スタッフ等)

9. 補助金振込先

(乗馬クラブ名義)

銀行 支店・出張所

普通・当座預金 口座番号

口座名義

ふれあい事業報告書（様式2－3）

写真貼付表（1）

ふれあい事業報告書（様式2－4）

写真貼付表（2）